

## 第 65 期 北海道支部支部長あいさつ

第 65 期北海道支部の支部長を拝命いたしました北海道科学大学の松田寿と申します。2024 年度の支部事業スタートに際して御挨拶申し上げます。

このような貴重な機会をいただきましたので、是非とも北海道支部の活性化を図りたいと考えています。この 3 月に函館高専を会場に北海道支部講演会および北海道学生会卒研発表会が開催されました。両講演会を合わせた参加者は 170 名を超える盛況でしたが、支部講演会に限ると講演数も初の 30 件割れとなりました。残念ながら講演数の減少が続いております。北海道支部ならではの移動距離の大きさが影響していることがあるかと思えます。この点に関しては参加者の負担を考えて、数年前から支部講演会と学生会卒研発表会の合同講演会となっております。従って支部としては年 1 回の講演会です。研究成果の発表・共有の場として、ぜひとも皆様の参加をお願いいたします。私事となりますが、教職に就く前は関東の民間企業に研究職として 28 年間従事しておりました。各種の学会活動にも積極的に取り組んできた経験があります。関東の学会は大学・高専関係者だけではなく、民間企業や国の研究機関からの報告も多くみられ、官民学がいろいろと刺激あっていました。松永前支部長とも話をさせていただきましたが、ぜひ北海道支部でも民間企業や研究機関からの参加者増大につながるような働きかけをしていきたいと思っております。当然、民間企業からの発表には特許等の絡みもあり大変であることは熟知しております。しかし新しい技術を社会実装していく困難さを背景とする研究発表は、アカデミアにはない視点を北海道支部にもたらしてくれると思うのです。また、これまでは会員ではない企業の方々や学生にも日本機械学会に目を向けていただくために、学会に入っていることによるメリットを感じてもらえるようなイベントを企画したいと考えています。ニーズを探りながら、各種の講習会・セミナーなどの開催も考えていきたいと思っております。

昨年度には大手半導体企業の北海道進出もありました。また大型洋上ウインドファームも運開されました。日本機械学会関係者の活躍の場が広がってきております。幹事会の皆様、商議員の皆様のお力を借りながら 2024 年度を盛り上げていきたいとおもっております。関係者の皆様のご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。